

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 中三陸 四季香る家

グループの名称 中三陸 家づくり協議会

直近採択グループ番号 04-0319-0065

(グループ代表者)

代表者名 坂本 和 代表者印

代表者所属先 南洋建材株式会社

代表者所在地 岩手県宮古市金浜第7地割8番地1

代表者電話番号 0193-62-1470

(グループ事務局)

事務局事業者名 フェニーチェホーム南洋株式会社

事務局担当者名 鼻崎 洋之 印

事務局郵便番号 027-0096

事務局所在地 岩手県宮古市崎鍬ヶ崎第11地割16番地19

事務局電話番号 0193-64-1510

事務局FAX 0193-64-1511

事務局担当者E-mail hiroyuki.hanasaki@nice.co.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		14	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	14	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		6	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	4	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		10	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	8	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		12	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	12	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0	棟	/					
			0	m ²						
		申請が未確定	0	棟						
			0	m ²						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	長期優良住宅、認定低炭素住宅ともに各社最低1棟を配分し、余分はグループ全体の補助金予算配分額の消化を優先するため先着順とする。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	12	戸	交付申請戸数	7	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	6	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 中三陸 四季香る家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県中三陸
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 中三陸 家づくり協議会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0319-0065	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・東北の三陸地域は寒冷気候であるために、平成25年基準の断熱性能とする。(非住宅は除く)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・夏季は地域特有の「やませ」を利用するため、建物の東西に窓を設ける。 ・「やませ」は塩分を含み、洗濯物に支障があるため、建物内に物干し部屋を設ける。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・「やませ」を緩和する措置として、建物の東側に植栽を設ける。	◎
④ ①～③の背景	岩手県は都道府県別脳内出血死亡率ワースト1位のため、住宅内部温度差のバリアフリー化による予防対策が急務である。また、当グループの施工エリアである岩手県沿岸部では、春から秋にかけてオホーツク海上に高気圧が発達すると「やませ」と呼ばれる冷涼な北東風の濃霧が発生する。この「やませ」は冷涼風であるため夏季は住宅内部に取り入れる事で暑さ対策に利用できる。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域住民の高齢化が進行しており、住宅の維持管理に付随した安否確認などの地域貢献活動も行ってゆく。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	躯体についての標準仕様を決定している	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 共通標準仕様書から、省エネ機器の絞り込みを行う。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域型住宅の共通標準仕様書を決定しており、受注活動時に利用する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 従来、個別調達としていたが事務局で共同購入を検討する	◎
②-1 建材・資材調達の共同化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域型住宅の標準仕様書で対象商品特定する	○
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内に「グリーン化事業推進委員会」を設置し、委員長を省エネ設備等の流通構成員(商社等)とする	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局はグリーン化事業推進委員長と連携し、新商品や施策情報を収集する	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: フラット35の設計施工基準書を基準とする	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地盤調査を5ポイント行う	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見積書の表現は業界用語ではなく、消費者の理解できる内容とする	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループの共通標準仕様書を反映させたモデルハウスをグループ内で活用し、未経験構成員への支援並びにグループ全体の信頼向上に役立てる(非住宅は除く)	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	途中参加する施工業者は、省エネ講習の受講を条件とする	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 中三陸 四季香の家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県中三陸
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 中三陸 家づくり協議会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0319-0065	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報システムにデータ保管する	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プロパティオン㈱(いえかて正会員)に蓄積する	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局、施主、施工者が共通IDにより確認できる	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内でアフターサービス基準を統一し点検を実施する	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 震度5強以上の地震発生時に応急点検・補修を行う	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検時期にアラームメールを設定し関係者に送信する	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で企画を検討する	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で森林見学ツアー等企画を検討する	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員主催の「住まいの耐震博覧会」へ参加する	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グリーン化推進委員会が年に1回、事務局と連携して構成員に周知させる	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: アフターサービス基準による定期点検により品質の維持管理を実行する	◎
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が他のグループ構成員による代替履行を斡旋する	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険会社による勉強会を実施する	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 2020年の省エネ義務化に対応するため、「中小工務店の省エネ適合率向上セミナー」を宮古市で開催するよう事務局が流通構成員に働きかける	◎

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補助対象現場を利用し、施工構成員向けの現場勉強会を開催する	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 基礎工事検査及び構造躯体検査を実施する	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて検査記録を確認する	◎
③-1	需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 今後、地域型住宅の供給戸数増加に伴い、地域材の需給見込みを策定する	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ義務化に備え「適合率向上に向けた講習会」を実施する	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 設計構成員は外皮計算・一次エネルギー計算を取得し施工構成員を支援する	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より未受講構成員に対し講習会開催予定表を送付し参加を働きかける	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木質繊維断熱材などを試験採用し、大手との差別化を研究する	○
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループでは新技術開発は検討していません	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 性能表示簡素化に伴い、長期優良住宅は性能表示制度を取り入れる	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 中三陸 四季香る家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県中三陸
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 中三陸 家づくり協議会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0319-0065	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	◎
<p>主要構造材につき、次の証明制度を利用する</p> <p>・土台:合法木材証明制度(国内、国外)、岩手県産材証明制度(岩手県)、PEFC認証制度(国外)、FSC認証制度(国内)</p> <p>・柱:合法木材証明制度(国内、国外)、岩手県産材証明制度(岩手県)、PEFC認証制度(国外)、FSC認証制度(国内)</p> <p>証明制度(岩手県)、PEFC認証制度(国外)、FSC認証制度(国内)</p> <p>梁・桁:合法木材証明制度(国内、国外)、岩手県産材証明制度(岩手県)、PEFC認証制度(国外)、FSC認証制度(国内)</p> <p>記使用樹種 土台→桧、米ヒバ、唐松(全て集成含む)、米桐防腐 柱→杉、桧、WW、RW、唐松(全て集成含む)</p> <p>梁・桁→米マツ、RW、唐松(全て集成含む)、米マツ・杉集成材</p> <p>□ 50%未満 ■ 50%以上 □ 80%以上</p> <p>土台: □ 使用していない ■ 使用している</p> <p>柱: □ 使用していない ■ 使用している</p> <p>梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している</p> <p>羽柄材 間柱、根太、垂木等: □ 使用していない ■ 使用している</p> <p>造作材 枠材、廻縁等: □ 使用していない ■ 使用している</p> <p>板材 壁板、床板等: □ 使用していない ■ 使用している</p> <p>従来、主要構造材についての認証制度は調べたが、今後は「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」に鑑み、主要構造材以外の木材についても合法性を調査する。調査は、事務局と木材流通構成員によって行う。</p> <p style="text-align: center;">地域材供給フロー</p> <p style="text-align: center;">この図は例であり、異なる場合があります</p> <pre> graph TD A[原木供給業者] --> B[製材・集成材・合板供給業者] B --> C[流通事業者] C --> D[プレカット業者] D --> E[流通事業者] E --> F[施工業者] </pre> <p>岩手県産材認証事業者 合法木材認証事業者 その他森林認証事業者 (PEFC、FSC等)</p> <p>※合法木材の一部においては原木供給者の特定が困難な場合があるため、製材・集成材・合板製造グループ、流通グループに所属する事業者による合法性の証明によって代替する。</p>		◎
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	◎
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p>	◎
<p>その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p> <p>特にありません</p>		

カ. その他	【平成29年度対応方針】	◎、○ 記入欄
--------	--------------	------------

東日本大震災の復興に資する取組	当協議会メンバーの活動エリアが東日本大震災の被災地となっている為、本事業への取り組みを推進し性能に優れた地域型住宅を建設する事で、地域経済が活性化し、結果として被災地が潤うものと考えています。当協議会は岩手県中三陸地域の家守りの中心的存在になる事を目的として組織化しました。多くの被災者に性能の高い住まいの住んで頂く事で復興に寄与して参ります。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	特にありません	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 中三陸 四季香る家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県中三陸
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 中三陸 家づくり協議会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0319-0065	

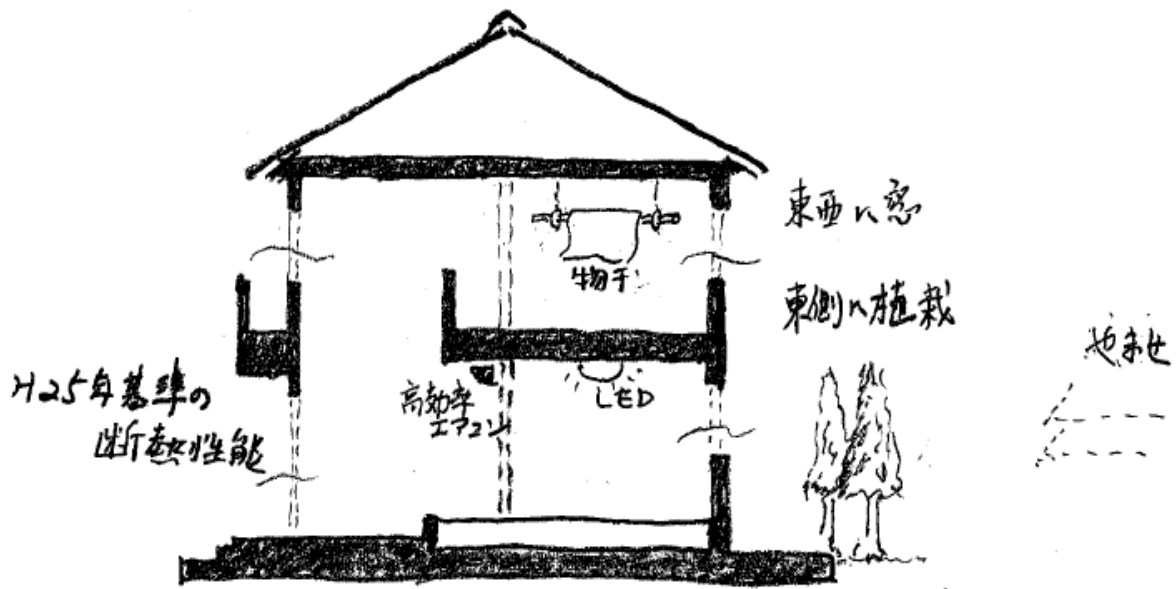
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

グループが取り組む
地域型住宅
(高度省エネ型)



コンセプト

- 自然と対峙することなく、地域の「やませ」と共生する家
- 盛夏は植栽等で調整しながら室内に取り込むことで、エアコンに過度に頼らない家
- 高効率エアコンと照明LED化の推奨により省エネ効果を発揮

共通ルール

- 建物の東側に植栽を設ける
- 建物の東西に窓を設ける
- 建物内に物干しスペースを設ける
- H25年基準の断熱性能
- 主要構造材に地域材50%以上使用